

ホームページに
動画二ユース
www.fukushinbun.co.jp

「越前織」1年生の胸に 坂井 全国へ、名札製造ピーク



入園・入学シーズンを前に、ピークを迎えている越前織の名札作り
= 3日、坂井市丸岡町今町の児玉織ネーム(杉本哲大撮影)

入園・入学シーズンを前に、坂井市内では地場産業の細^{ほそ}織物「越前織」で校章などを織り込んだ名札の製造がピークを迎えている。全国の小^こ学生や園児らの胸などを飾る名札が次々と完成している。

昭和30年代から続く同市丸岡町今町の児玉織ネームでは、全国700〜800校の小中学生や幼稚園児用の名札を製造している。現在は入園、入学のほか、学年が上がって名札が変わるため、1年で最も忙しい時期となる。工場では年季を感じさせる木製の織機など11台がほぼフル回転。名札を織るリズムカルな音が

絶え間なく響いている。昨年祖父から工場を引き継いだ酒井良行さん(49)は「実際に着けているところを見ることはできないが、全国の子どもに使われていると思うと誇らしい」と話していた。

